

R3-02

関係機関と連携した防犯教室等の取組

- 管内 日高管内
- 分類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ
 スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 警察と連携した生徒の防犯教室の取組
- 2 警察と連携した教職員の防犯研修の取組
- 3 防犯研修の動画視聴による防犯意識を高める取組

取組の実際

ねらい

- 防犯教室で、学校に不審者等が侵入した際の対応について、生徒の理解を深め、生徒が適切に自分の身を守ることができるよう、生徒の防犯意識を高める。
- 防犯研修で、学校に不審者等が侵入した際の対応や、さすまた等を活用した安全確保の訓練を教職員が行い、生徒及び教職員の安全を守るために必要な知識及び技能を高める。

内容

1 警察と連携した生徒の防犯教室の実施

生徒の防犯意識を高めるため、地域の警察署員を外部講師として招聘し、体験的な活動を取り入れ、次の内容で防犯教室を行った。

- ・不審者等が侵入した際の避難訓練
- ・不審者による被害の実情や、避難の際に気を付けるポイント等に関する講話
- ・護身術訓練



【防犯教室（護身術訓練）の様子】

2 警察と連携した教職員の学校安全に係る校内研修の実施

生徒指導担当教諭が中心となり、防犯教室と関連させ、地域の警察署員が不審者役となり、次の内容で学校安全に係る校内研修を行った。

- ・不審者と思われる人物が、校内に侵入した際の声掛けの方法や、職員への周知、生徒の安全確保、関係機関等への連絡等、対応の流れについて、共通理解を図る研修
- ・学校に設置している、さすまた等を活用した、不審者から生徒及び教職員の安全を守るための実技訓練



【防犯教室（さすまた使用法視聴）の様子】

3 動画視聴による防犯意識を高める取組

防犯教室では、生徒が、さすまたを活用した教職員の学校安全に係る研修の様子を視聴した。警察署員から、不審者の危険性と自分の身を守るための適切な行動について、説明を受けた。

成果と課題

- 防犯教室及び校内研修で、警察署員と連携し、避難訓練や対応方法について実践的な研修を行ったことにより、生徒及び教職員の防犯意識を高めることができた。
- 防犯教室で学習した内容を、生徒が日常生活に生かすことができるよう、避難訓練と、警署員の説明、護身術訓練に加え、取組を通して新たに感じたことや疑問や課題について、生徒同士が交流する場面を設定するなど、学びを深められるよう、事後の学習を工夫する必要がある。